

令和6年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和6年11月1日 11月号

学ぶと見えてくる景色

校長 齊藤 浩正

朝晩に晩秋の肌寒さを感じる季節になりました。先月末には、低学年とさくら学級の児童が、学校応援団の農業指導の方とサツマイモを収穫しました。豊作でした。学校は実りの秋を迎えています。

さて、先月10月24日(木)25日(金)の1泊2日で、6学年が日光方面へ修学旅行に行ってきました。「学びを修める」と書くように、6年間の学習の総まとめをする旅行ですという話をしてから出かけました。私も引率しましたが、行く先々で「自然なあいさつがきちんとできる子供たちですね」など、お褒めの言葉をかけていただき、そのたびに子供たちの清らかで素直な成長を感じ、とても嬉しく思いました。

修学旅行に出かける前に、子供たち自らインターネットや書籍などで旅先のことを調べました。今年度は更に、市立博物館勤務の経験がある教頭から「川越と日光とのつながり」の授業を受けました。徳川家光がなぜ日光東照宮をつくったのか、徳川家と天海僧正と喜多院のつながり、五重塔と川越藩の関係などを学んでから出かけました。東照宮を見学した時には小雨が降っていたのですが、傘を差しながらも、ガイドさんの話に真剣に耳を傾け、熱心にメモを取っていた子もいました。学ぶ心に火がついたようです。

私も子供たちと一緒に授業を受けて学んでから出かけました。日光には引率の仕事だけでなく個人でも、訪れたことがあるにもかかわらず、たくさんの再発見がありました。おそらく、子供たちも事前に学習したことで、ただの楽しい修学旅行ではなく、歴史を感じ深く学ぶことができた修学旅行になったことと思います。

これからも、教科の学習や行事などをとおして、子供たちにはたくさんのことを経験し学んで欲しいと思っています。そして物事を多面的にとらえたり、深く考えたりできるようになって欲しいと願っています。

11月15日は開校記念日 開校51周年

今年開校51年を迎えます。校歌の3番に歌われている「ちえ伊豆」こと松平伊豆守信綱は、徳川家光から信頼され、老中や川越藩主などを歴任しました。島原の乱を鎮圧したり、大火後の復興、玉川上水や野火止用水をつくったりと、江戸幕府や川越藩の発展に大きな功績を残しました。歴史を学ぶと、改めて高階西小学校の校歌の奥深さや文化の香りを感じます。ちなみに信綱の墓は、新座市の平林寺にあります。武蔵野の自然が保存された境内は、紅葉がとってもきれいです。

藤間の里に ちえ伊豆の
深きゆかりの 道ゆかし
つたわる誇り 胸にひめ
みんな友だち 愛しあい
強くてやさしい 心の われら
まなぶ まなびや 高階西小学校

はげむ まなびや 高階西小学校
よく考えて 進んで やる子
になう未来の いしずえを
理想にもえる 胸はって
息吹き新らし 空高し
開いて古き 高階の

つどう まなびや 高階西小学校
明るく元気に 伸びゆく われら
つばらひとみを かがやかし
大きな望み 胸にだき
かおる若葉の 丘すがし
山なみ遠き 武蔵野の

高階西小学校 校歌

江森 孟孔 作詞
只野 通泰 作曲